

事業実施（計画・状況）報告書

報告日：令和8年2月24日

1. 基本情報

法人名	ソーシャルインクルー株式会社
事業所名	ソーシャルインクルーホーム上越寺町
事業所所在地	上越市寺町1丁目18番23号
主たる対象者	身体障害者・知的障害者・精神障害者

2. 施設の（計画・状況）

住居名	住居の所在地	共同生活援助の定員	短期入所の定員
ソーシャルインクルーホーム上越寺町	上越市寺町1丁目18番23号	20人	2人

3. 職員配置（計画・状況） ※勤務形態のわかる資料（任意様式）も添付すること

管理者氏名	岡部 史彬	夜間支援従事者	12人
サービス管理責任者氏名	—	看護師の配置状況	1人
世話人	16人		
生活支援員	3人		

4. 実施（計画・状況）

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容
利用者数	(身体障がい) 区分5:1人、(男0人、女1人) (知的障がい) 区分5:6人、区分4:3人、区分3:2人 (男9人、女2人) (精神障がい) 区分6:1人、区分4:1人、区分3:6人 (男1人、女7人) (難病等) 0人(男0人、女0人)
支援の基本方針	日中サービス支援型ですが、介護包括型やサテライト型と同じく自立訓練の場であると考えております。少しずつでもご利用者様の自立に向けた支援が出来るようご家族様、相談事業所様はじめ関係機関様と連携しながら支援内容について検討をしています。その中でも、重度化・高齢化した障害者の方々께서少しでもご自身で出来ることが増え、日々のルーティーンも含めて成長を実感出来るような支援をさせて頂きたいと考えております。障害割合として精神障害の方が多い現状ではありますが、その中でも摩擦が起きないように職員が緩衝材となり、共同生活が営めるように支援をさせて頂いております。ご利用者

	<p>様が自立を目指し、地域において日常生活を営むことが出来るよう、ご利用者の身体及び精神の状況並びにそのおかれている環境に応じて、入浴、排せつ又は食事の介護、相談その他の日常生活上の援助を適切に行っております。ご利用者が安心・安全・快適にご生活頂けるよう支援に当たらせていただいております。</p>
<p>利用者の障がい特性等（医療的ケアの必要性の有無、強度行動障がいのある利用者の有無、その対応方針等）</p>	<p>身体障がい者の支援として、難病の方で身体機能が低下していく方の生活全般にかかわる支援を行っています。難病をお持ちの方で、ADLが徐々に低下しているため、適宜ご本人の状態に合わせて担当者会議を開き、関係者と支援方法を検討しています。</p> <p>知的障がい者について、自閉症、ADHD、てんかん発作をお持ちの方、強度行動障がいの方がおられます。共同生活を送っていく上での必要な支援方法を手順書やマニュアルを作成し共有した支援が行えるように体制作りを行っています。支援経過記録や日ごろの申し送りをもとに情報を吸い出し、支援方法の模索を行っています。</p> <p>精神障がい者について、統合失調症やパーソナリティ障害、躁うつ病の方の支援をしています。一人ひとりの特性を理解し、支援者や他入居者との関係性に留意し、支援を行っています。話を聞き取ったことを家族や相談員に情報共有し、必要に応じて訪問看護師や医療ソーシャルワーカー、地域の支援機関と連携しています。</p> <p>医療的ケアについては、訪問看護ステーションや訪問診療との連携にて看護師不在でも対応が出来る状態であれば出来る限り対応したいと考えております。</p>
<p>日中活動の状況</p>	<p>（他の日中活動の利用状況） 他の日中活動サービス事業所を利用 20人</p> <p>（主な他の日中活動サービス利用先） 就労作業所B型、通所生活介護、基準該当のデイサービス</p> <p>（日中活動先のない（通所先のない）利用者数） 20人中 0人</p> <p>現在は、全員が通所しており、社会活動に参加しています。 通所していく上で生じる困難ケースについては、支援者会議や事業所と直接やり取りを行い、進めています。</p>
<p>日中の支援方法 （日中グループホームで過ごす利用者に対して、どのような支援を行っているか）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・入浴介助 見守り声掛け支援、職員介助含めて利用者特性に合わせて対応しています。 ・食事 栄養や健康状態に合わせて対応しています。食材を専門業者に依頼し、届いた食材を毎食職員が料理しています。 ・排せつ 見守り声掛け支援、職員介助含めて対応をさせていただきます。特性に合わせて環境や方法を検討しています。 ・着替え、整容等 保清には特に気を配り、季節毎の服装など対応し

	<p>ています。事業所に持っていく荷物や連絡ノートの支援といったところも行っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康管理 職員による毎日のバイタルチェック等健康管理を行います。また、緊急時には主治医、協力医療機関、提携訪問看護事業所などと連携し対応しています。平時の通院同行も行っています。 ・入院等に関する支援 利用者の入院についてはご家族が対応できない方については職員がご家族様が変わって対応しています。また、上記日常生活の支援に加え、下記対応を行います。 ・外出支援、散歩支援、折り紙やお絵描き、将棋、オセロなどのアクティビティ支援を行っています。 ・その他、年間行事(お正月や七夕、クリスマスなど)の飾り付け、豆まきやひな祭りといったイベントも行いました。
指定計画相談事業者の状況	<p>(別法人等の指定計画相談支援事業所の確保状況)</p> <p>別法人等の計画相談事業所利用者 20人 自法人等の計画相談事業所利用者 0人 セルフプラン 0人</p>
短期入所の受け入れ状況	<p>利用者数(延人数) 9人 緊急短期入所受入加算の算定人数(延人数) 0人 (緊急受け入れの事例) 前施設での退去通告のあった方やご家族の急病等で支援が必要な方を受け入れました。</p>
地域との交流方法	<p>(家族や地域住民との交流について) 現状、地元住民との交流はありません。今後、検討実施していきます。家族参加型のイベントというものは実施できていませんが、ご家族とは適宜連絡をとり、来所時にはご本人の様子や支援について、お話をしています。</p> <p>(実習生やボランティアの受入について) 現状として行えていません。今後、検討実施していきます。</p>
利用者に対する地域生活の支援について	<p>(利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか) 買物同行や通院同行を行っています。 余暇活動としては将棋やオセロ、お絵かき、折り紙等を行っています。</p> <p>(体験的利用等のニーズに対応しているか) 有償体験を利用した宿泊を通して、入居された実績があります。</p>
権利擁護に対する配慮	<p>虐待防止に関する責任者 管理者 虐待防止対策検討委員会等の開催 <input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無 身体拘束等適正化対策検討委員会等の開催 <input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無 身体拘束等適正化のための指針の整備 <input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無 (その他具体的な取り組み) ・虐待防止ポスターを事業所のリビングと事業所に設置。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待防止身体拘束等適正化マニュアルを事務所に設置。 ・運営部(新潟県担当)にて定期的に事業所を訪問、チェック。 ・本社内部監査室による虐待防止アンケートの実施。 ・内部通報制度を外部機関に設置し、ポスターを事務所に設置。 ・毎月の定期ホーム研修での困難ケースの確認。
<p>相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・相談員とは必要に応じてご本人の様子や支援面についての相談を行っています。月に1回は担当相談員とご本人の様子を伝えるようにしていきます。 ・他サービス事業所とは日々の連絡ノートを通じて本人の様子について共有し、適宜連絡を取り合って支援しています。
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者様像について ・推定障害支援区分3~6 平均区分は4ですが、区分6の方の支援ができないというわけではありません。実際に区分6の方もいますし、受け入れについては柔軟に対応をしていきたいと考えております。区分3の方で自立を目指している方もいますし、共同生活後、区分変更で重くなる方もいます。 ・想定年齢 日中サービス支援型の趣旨に則り、ご家族が高齢化し自宅にて支援が難しくなっているご年齢層が想定となりますので記載では10代20代は外しております。ただ、ご相談状況に合わせて柔軟には対応させて頂きたいと考えております。 ・男女の別 現在、ソーシャルインクルーホーム上越寺町は1階が男性10人、2階が女性10人で過ごしています。玄関入り口から完全に分かれており、イベントも別で行っています。定員を超える問い合わせがあれば、県内(他に8ホーム+新潟市西蒲区に新規開所予定)や富山県、長野県などの近県含む他県もご案内し入居が進んだケースもあります。 短期入所は男性、女性とも定期的に利用している方がいまして、男女合わせて月の半分程度の利用になります。 ・職員配置について 現状、男性配置が多くなっていますが、権利擁護に配慮した形で支援を行っています。

協議会（令和7年2月20日）からの要望・助言への対応状況	<p>① 来年度から地域連携推進会議が義務化されるが、会議の構成や人選で困っていることはないか。</p> <p>→昨年10月に地域連携推進会議を実施した。町内会長は欠席したが、学校関係者、相談事業所等から知見のある方が出席し意見を頂いた。これからも地域と連携を密にしたホーム運営を行っていききたい。</p> <p>② 一部の日中支援型グループホームにおいて、外泊制限をかけているという話を聞いたことがある。本人や家族から外泊の希望が出た際には、意思決定支援や権利擁護の観点から協力していただきたい。</p> <p>→外泊希望が出た際は、ご家族やご本人の意向に沿えるよう対応していきたい。</p>
------------------------------	---

5. 上越市自立支援協議会評価等記入欄（報告後に市が記入）

評価、要望、助言等	
-----------	--

6. 5. 上越市自立支援協議会評価等に対する対応（評価等を受けて記入・提出）

上記に対する回答、対応方針等	
----------------	--